

2006 年度 環 境 報 告

東邦アセチレン株式会社

当社は、酸素・窒素・水素・アセチレンなどの一般工業ガスの製造販売、LP ガスなどの民生用ガス、およびガスアプリケーション、溶接・溶断などのガス関連機器の販売を中心に事業展開しております。

当社の環境管理活動は、ISO14001 取得を機に 2005 年度より本格的にスタートし、初年度は、社員の環境意識の向上、実行可能なテーマ、および正確な環境側面の把握を基本として取り組みを開始しております。2006 年度は、前年度の活動結果をもとに引き続きほぼ同様の目標を掲げ、全社員一丸となって環境管理活動に取り組みました。

以下、2006 年度に取り組んだ活動結果についてご報告いたします。

環境問題への取り組み

環境方針

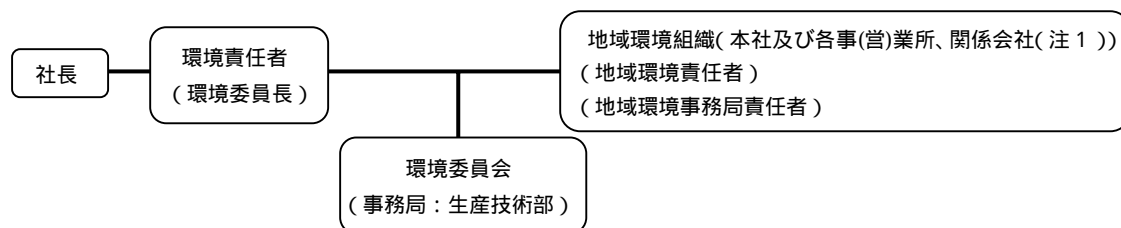
東邦アセチレングループは、以下の方針に基づき、環境管理活動に取り組んでおります。

1. 省エネルギー及び省資源・リサイクルにより、環境の保全・向上に努めます。
2. 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
3. 事故・災害及び環境汚染の予防に努めます。
4. 環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

2006 年度の環境目標については、活動報告をご参照願います。

環境管理システム

当社では、環境管理規定に基づき設置された環境委員会を年 1 回開催し、全社の年度の活動報告や活動計画を審議し、環境管理活動を推進しております。当社の環境管理組織は以下のとおりです。



内部環境監査

当社では技術本部が中心となり、年 1 ~ 2 回各事業所の環境監査を、保安監査と並行して実施しております。事業所の環境監査では、法令遵守(コンプライアンス)、環境負荷低減対策などの実施状況のチェックをしております。

法令遵守

当社では、内部環境監査で指摘された事項については直ちに是正を指示し、特に環境法令に関しては、2006年度末には100%遵守されていることを確認しており、法令違反による処罰はありませんでした。環境法令の改正等は随時全社に発信し、対応の徹底を図っております。また、2006年9月には「東邦アセチレングループ CSR 憲章」を制定し、コンプライアンス体制を構築することにより環境問題に対しても取組みを強化しております。

(注) CSR : Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)

ISO14001 認証取得

当社環境活動のレベルアップおよび顧客満足度の向上を図るため、仙台事業所仙台工場（液化酸素製造工場）および関係会社である東邦酒田水素（株）（水素ガス製造工場）において、2005年1月、国際規格 ISO14001 の認証取得いたしました。



審査機関：高圧ガス保安協会 ISO 審査センター

登録範囲：液化酸素、液化窒素、液化アルゴン、水素ガスの製造

登録日：2005年1月21日

登録番号：05ER・496

2006年度活動報告

地球温暖化に向けた取組み

エネルギー使用量の削減が主なテーマです。

環境目標	活動項目	具体的活動内容	活動結果
電気使用量の削減	事務所冷暖房設定温度の管理	適切な室内温度目標値の設定 (冷房：28 暖房：20)	実施
	クールビズ、ウォームビズの実施	(ウォームビズについては事業所の実態に合わせる)	実施
	電気使用量の管理	事業所毎に毎月の電気使用量を記録する	・全社合計：37,700 [MWh] (工場、関係会社含む(注2)) ・炭酸ガス換算総排出量(注3) 19,200 [トン]
自動車燃料(燃費)の削減	エコドライブの推進		実施
	燃費管理	車両毎に保守管理者を選定し、毎月の走行距離、給油量、燃費を記録する	車両管理の変更等があり正確な実数を把握することができなかった

[コメント]

- ・電気使用量の管理：今回、仙台工場空気分離プラントの稼働率がアップし、電気使用量が大きく増加しましたが(前年度 34,700[MWh]、8.5%増)、電力原単位は3.4%向上しました。

省資源・リサイクルの推進

環境目標	活動項目	具体的活動内容	活動結果
紙資源の節減	再生紙の利用	OA用紙、名刺については古紙配合率100%の再生紙を購入・使用することを推進する	<ul style="list-style-type: none"> OA用紙 合計購入量 : 10.0 [t] (前年度 9.4 [t]) 再生紙購入率 : 98 [%] (43%向上) 名刺 再生紙購入率 : 79 [%] (27%向上)
	グリーン製品(エコ製品)の購入	パイプ式ファイルの購入率50%	購入率 100%
廃棄物の削減	一般廃棄物の分別の徹底	処理・処分業者を交え、事業所毎に最適な分別方法を決定し、社員に周知する	実施

環境法令の遵守

法令に遵守し、産業廃棄物を適正に処理します。

環境目標	活動項目	具体的活動内容	活動結果
産業廃棄物の適正な取扱い	産業廃棄物の適切な取扱い知識の普及	産業廃棄物の取扱い方について社員に周知する	実施
	マニフェストの回収管理	産業廃棄物を排出し、運搬・処理・処分を業者に委託した際にはマニフェストを回収し、保管する(5年間)	実施

2007年度環境目標

2007年度の環境目標は、2006年度の課題をほとんど継続しますが、紙資源の節減を強化し取り組みます。

環境目的	環境目標	活動項目
エネルギー使用量の削減	電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 事業所冷暖房設定温度の管理 クールビズ、ウォームビズの実施 電力使用量の管理
	自動車燃料(燃費)の削減	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの推進 燃費管理

省資源・リサイクル	紙資源の節減	<ul style="list-style-type: none"> ・再生紙の利用 ・印刷物の削減（コンピュータネットワークの有効活用等） ・グリーン製品（エコ製品）の購入
	廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ排出量・処理費用の管理
環境法令の遵守	産業廃棄物の適正な取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱い知識の周知・普及 ・マニフェストの回収管理

印は新規活動項目です。

注1：環境管理組織図中の関係会社は次のとおりです。（順不同）

(有)北伸溶材、(有)道北溶材、青森東邦ベニー(株)、東邦運送(株)、北日本アセチレン(株)、八戸共同酸素(株)、(有)東邦秋田ガスセンター、東邦酒田水素(株)、(株)東邦仙台ガスセンター、郡山共同プロパン(有)、(株)福島共同ガスセンター、東邦興産(株)、東ホープロパン(株)、(株)いわき共同ガスセンター、いわき東邦プロパン(株)、(株)東邦関東ガスセンター、足利高圧(有)

注2：電気使用量に係わる工場、関係会社は次のとおりです。（順不同）

北日本アセチレン(株)、(株)東燃ホームガスセンター、(有)東邦秋田ガスセンター、仙台工場、(株)東邦仙台ガスセンター、東邦酒田水素(株)、(株)いわき共同ガスセンター、(株)福島共同ガスセンター、東邦興産(株)、東ホープロパン(株)、郡山共同プロパン(有)、(株)東邦関東ガスセンター、東邦運送(株)

注3：電気使用による炭酸ガス排出量は東北電力（株）が発表した2005年度の数値を用いて換算しております。（東北電力（株）「温対法に基づくCO₂排出係数について」（平成19年4月）による）

電気使用による炭酸ガス排出量 = 0.510 [kg-CO₂/kWh]

（注）前年度は環境庁・経済産業省発表データ（0.555 [kg-CO₂/kWh]）を採用しました。